

2011年3月期(第44期)

決算説明会

ジーエルサイエンス株式会社

平成23年6月3日

説明概要

- 2011年3月期 決算概要
- 2012年3月期 業績計画
- 計画の概要

ジーエルサイエンス 連結業績

百万円

	‘11年3月期	‘10年3月期	増減額	前期比
売上高	16,217	15,679	538	3.4%
営業利益	737	277	404	165.8%
経常利益	750	300	394	149.7%
当期純利益	371	190	145	94.9%

セグメント別 売上高

百万円

	‘11年3月期	‘10年3月期	増減額	前期比
分析機器事業	10,870	11,236	△ 366	-3.3%
半導体事業	4,672	3,779	893	23.6%
自動認識事業	674	663	11	1.7%
合計	16,217	15,679	538	3.4%

分析機器事業
半導体事業
自動認識事業

国内市場の回復が認められず減収 海外は好調
受注が順調に伸びる 国内は不調 海外が好調
下半期から受注が伸びず微増にとどまる

ジーエルサイエンス 個別業績

百万円

	‘11年3月期	‘10年3月期	増減額	前期比
総売上高	11,346	11,771	△ 425	△3.6%
売上総利益	3,958	3,925	32	0.8%
販管費	3,604	3,644	△ 40	△1.1%
営業利益	354	281	73	26.0%
経常利益	416	297	118	39.7%
当期純利益	169	△ 16	185	-

売上総利益率の改善と販売費一般管理費の節減効果で
結果として営業利益が増加

ジーエルサイエンス 事業別実績

2011年3月期(44期)

百万円

	‘11年3期	‘10年3期	増減額	前期比
分析機器売上高	10,672	11,107	△435	△3.9%
営業利益	369	270	99	36.7%
自動認識売上高	677	672	5	0.7%
営業利益	△15	10	△25	

- 分析機器事業
- 自動認識事業

自社消耗品が増加、装置、他社商品が減少
下半期から受注が伸びず微増

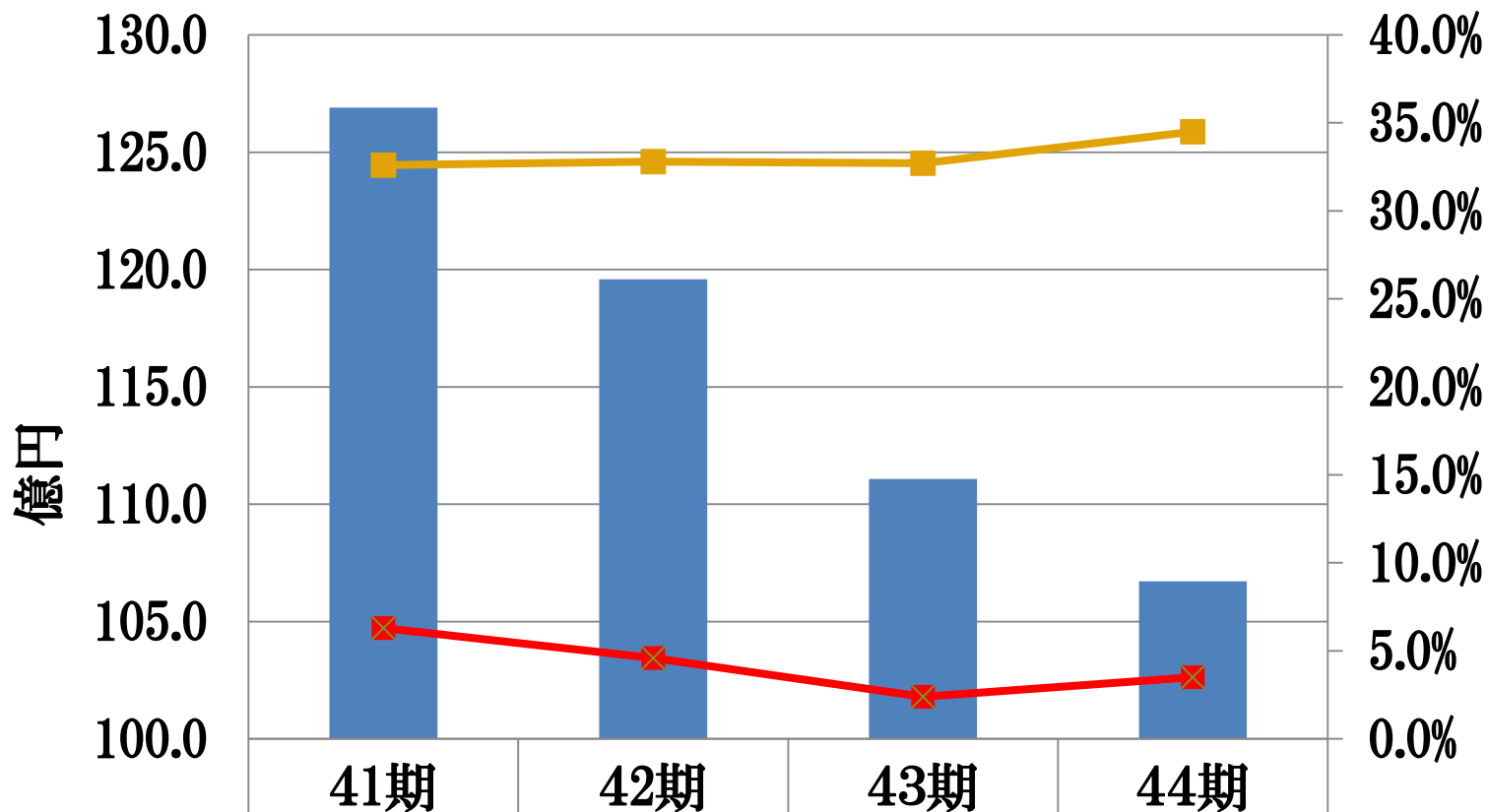
分析機器事業 海外比率

百万円

	‘11年3月期	‘10年3月期	増減額	前期比
分析機器 国内	9,701	10,387	△ 686	△6.6%
分析機器 海外	971	720	251	34.9%
海外比率	9.1%	6.5%	2.6%	-

- ・国内の状況 自社製品は微増、他社の商品が減少
- ・海外の状況 伸びの中心はアジア 特に中国、インド
周辺諸国も増加
アメリカ、ヨーロッパ地域は微増

分析機器事業の収益状況



■ 分析機器売上	126.9	119.6	111.1	106.7
■ 売上総利益率	32.6%	32.8%	32.7%	34.5%
■ 営業利益率	6.3%	4.6%	2.4%	3.5%

2012年3月期 連結計画

百万円

	計画	前期実績	前期比
売上高	17,257	16,217	6.4%
営業利益	805	681	18.2%
経常利益	757	694	9.1%
当期純利益	438	335	30.7%

ジーエルサイエンス グループ

2012年3月期 計画

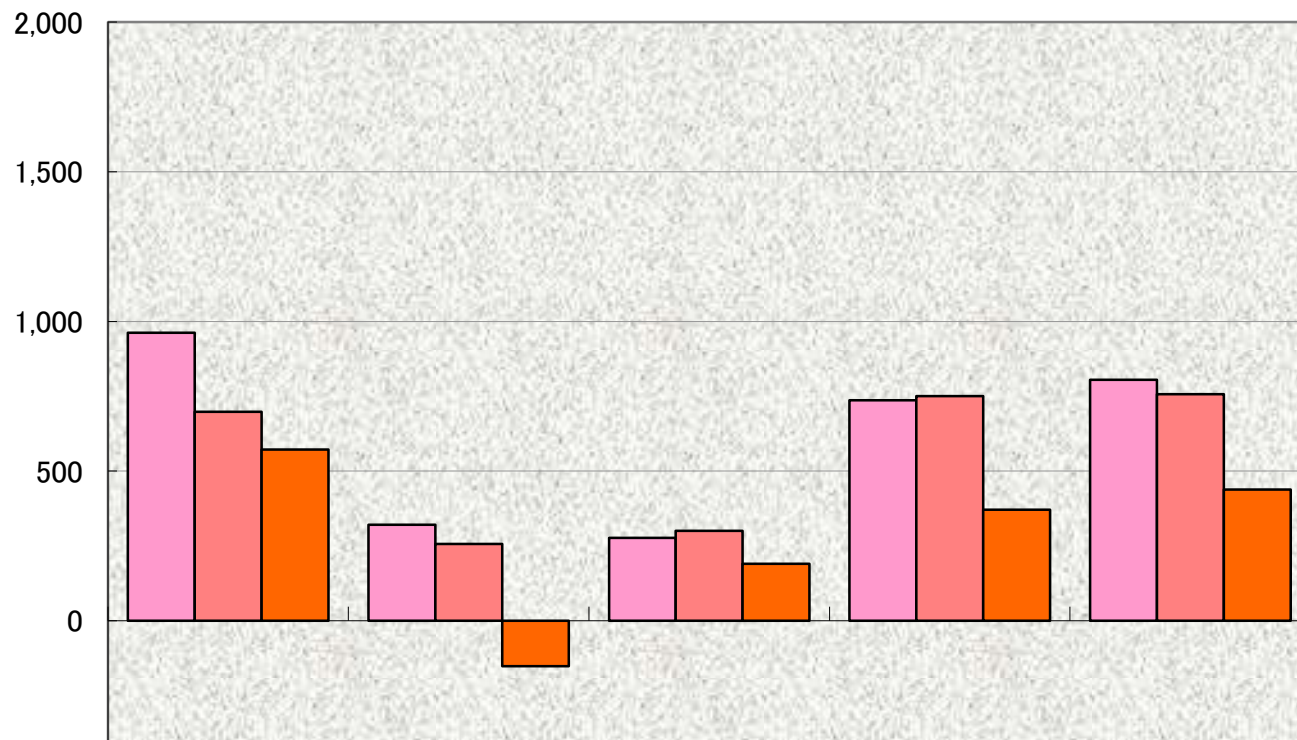
百万円

	2012年度3月期		前期実績		前期比	
	売上計画	営業利益	売上実績	営業利益	売上	営業利益
ジーエルサイエンス	12,200	446	11,346	354	7.5%	26.0%
テクノクォーツ(連結)	4,980	307	4,764	338	4.5%	△9.2%
GLグループ連結	17,257	805	16,217	737	6.4%	9.2%

連結 2012年3月期の利益計画

(百万円)

営業利益/経常利益/当期純利益 (連結)



	'08/3期	'09/3期	'10/3期	'11/3期	'12/3期(予)
▲500					
営業利益	962	321	277	737	805
経常利益	698	257	300	750	757
当期純利益	572	▲152	190	371	438

ジーエルサイエンス株式会社

個別計画(2012年3月期 45期) 単位 百万円

	2012年度3月期		前期実績		前期比	
	売上計画	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
分析機器事業	11,400	415	10,672	369	6.8%	12.6%
自動認識事業	800	30	677	△15	18.1%	-
GL全体	12,200	446	11,346	354	7.5%	26.0%

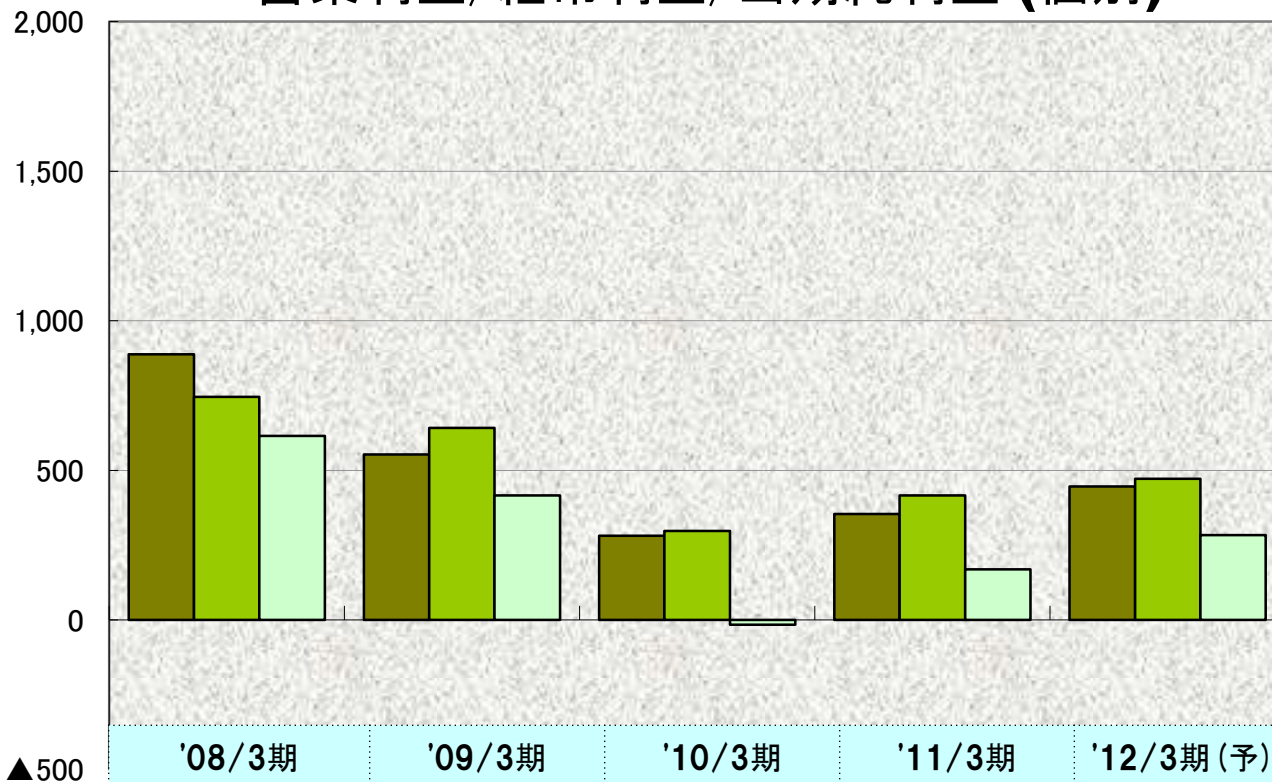
分析機器事業 海外売上高 11.5億円

海外比率 11.2%を計画

個別 2012年3月期の利益計画

(百万円)

営業利益/経常利益/当期純利益 (個別)



	'08/3期	'09/3期	'10/3期	'11/3期	'12/3期 (予)
営業利益	888	553	281	354	446
経常利益	746	642	297	416	472
当期純利益	615	416	▲16	169	283

分析機器事業 2012年3月期計画

• 選択と集中による販売戦略

1. イナートファミリー製品群(主力消耗製品)

- LC充填カラム
- GCキャピラリーカラム
- 固相抽出

1) 製品開発からコストダウンまで

LCカラムの新製品開発、製造方法の改善

2) 市場ごとの販売チームの結成

- 食品市場
- 環境市場
- 医薬品市場

主力消耗製品



前処理固相抽出カートリッジ
InertSep®シリーズ



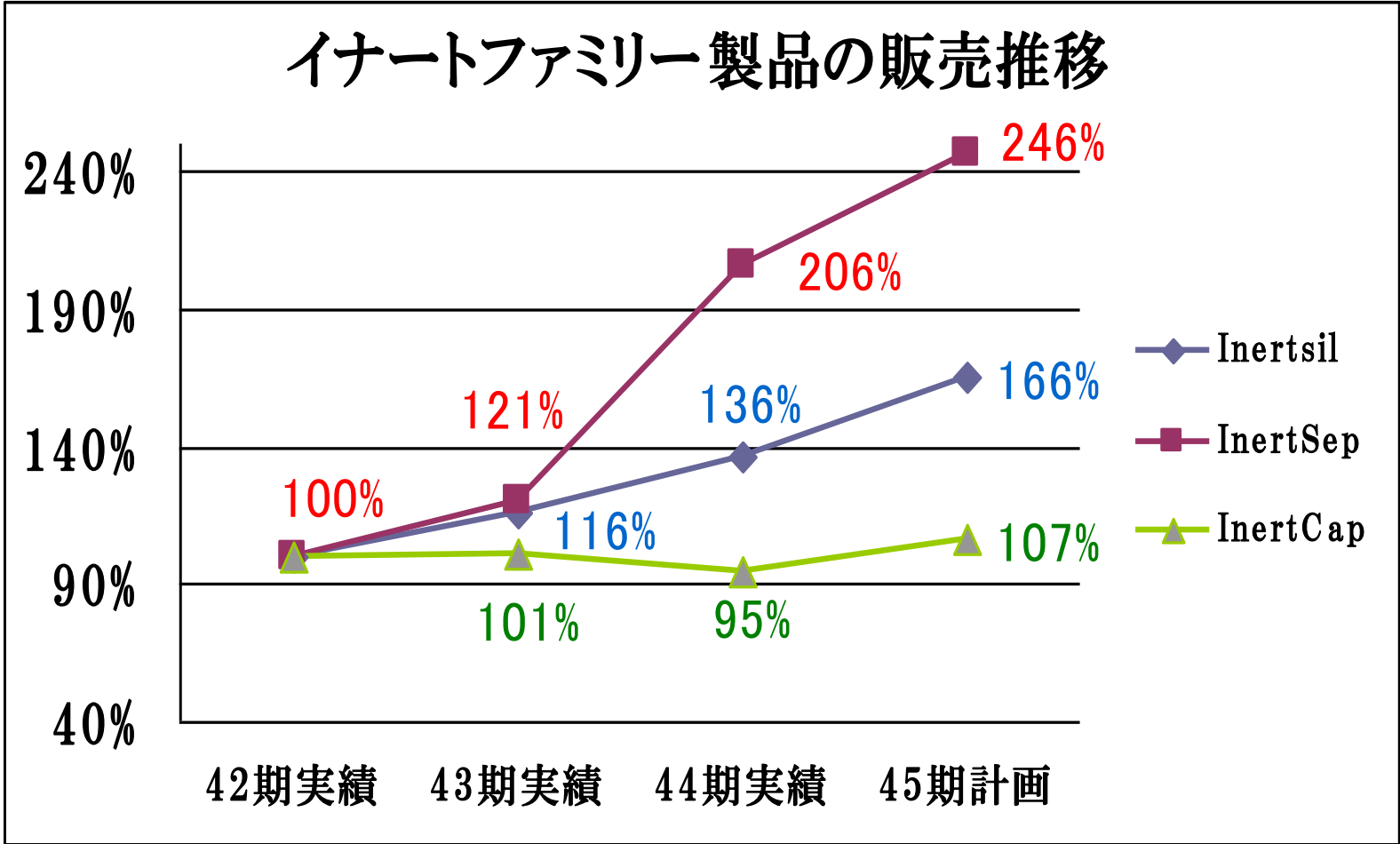
ガスクロマトグラフ用キャピラリーカラム
InertCap®シリーズ



HPLC用カラム Inertsil

新製品
Inert-Sustain

自社主力消耗品 イナートファミリー



※ 42期実績数を100%とした対比グラフ

食品市場へ販売する製品



残留農薬GPCクリーンアップシステム
G-PREP GPC 8100

前処理固相抽出カートリッジ
GCキャピラリーカラム
HPLC用カラム



微量金属分析用前処理
DigiPREP

InertSep®シリーズ
InertCap®シリーズ
Inertsil シリーズ

水質、環境市場へ販売する製品



濃縮導入装置
AQUA PT 5000J Plus



水質分析用全自動固相抽出装置
AQUA Trace ASPE799



固相加圧送液装置
AQUA Loader® III



無機分析前処理製品
DigiPREP 上水分析システム

前処理固相抽出カートリッジ
InertSep®シリーズ

GCキャピラリーカラム
InertCap®シリーズ

製薬・ライフサイエンス市場へ販売する装置



全自動分注ロボット(前処理用)
HAMILTON社製MICROLAB



液体クロマトグラフ
ハイスピードセパレーション
HPLCシステム LC800

ジーエルサイエンス株式会社

製薬・ライフサイエンス市場へ販売する消耗品

MonoFas 細胞・血液などのDNA精製(おもにバイオ関連)

MonoSpin[®] 幅広い分析分野の試料を対象にできる

- シリカモノリスを用いた、前処理用のスピンカラム
- 遠心操作により、生体試料など微量サンプルの前処理に効果的

卓上遠心分離機で使用



自動認識事業 2012年3月期計画

- 売上目標 8億円(前期比18%増)
- 従来製品の「提案力強化」
- 取引先との協業による新規市場への参入
- 機器組込ユニット関係 20万台 19.9%増
- 完成系製品(高付加価値品)の拡販 73%増

OS搭載高機能情報端末XPC100



XPC100

Windows CE (OS) を搭載 (プログラミング可能)

豊富な接点入出力制御機能と機器接続用I/F
入室管理システム、出席管理、 駐車場管理、
登下校管理、デジタルサイネージ、FA制御
さまざまなシステムに利用可能



XP100 (今期下期発売予定)

安価版情報端末の発売

I/Fを絞り込んだ普及型製品XP100
シリーズの投入
多くの市場での採用事例目指す

電池駆動式取替錠Fe-Lock



既存錠前取替式(扉加工不要)

単3乾電池で駆動する

非接触ICカード対応錠

配線工事不要、取付け容易

省エネ型 5年以上の高寿命

ピッキングなどの特殊開錠が不可能

使用履歴が保存可能

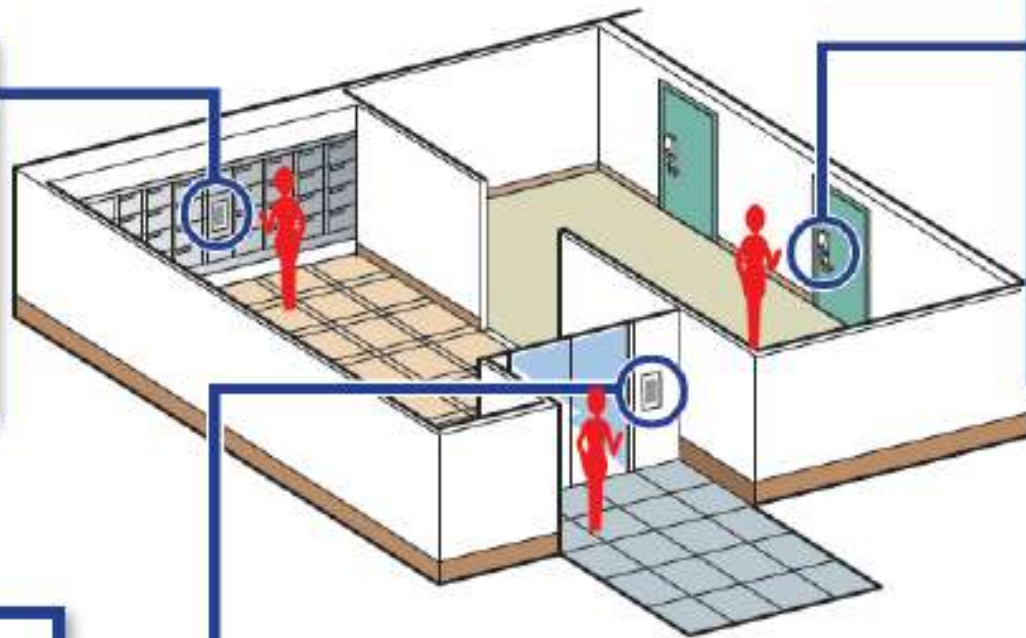
住宅用・オフィス用・倉庫・寮など

トータルセキュリティシステム

一枚のカード(携帯電話)で建物の様々な機器を制御します。

■メールボックス・宅配ボックス

集中制御型メールボックス



■居室

Fe-Lock



■エントランス

登録可能タイプ



カードリーダー



コントローラ



カードリーダー



カードキーや携帯電話
キータグを各機器に登録
することが可能です。



小型軽量ハンディリーダライター EzHandy



バッテリー駆動、モノクロ液晶画面

機能の見直しにより
低価格実現

非接触ICタグのデータを読み取り、収集したデータのPCへの転送可能

用途

記録収集用小型軽量のデータロガー

警備員による巡回、看護師の検診チェック

訪問介護の履歴管理巡回記録システム等

